



MA日本キックボクシング
CHAMPION CARNIVAL PART3
9月23日 ●東京・後楽園ホール

UKF王者で、戦績は16戦全勝(15KO)。肩書きを見るかぎり、クリスティ・マッコールは超強豪のはずだった。

だが終わってみれば、神風が1Rに三度のダウンを奪ってのKO勝ち。完勝だ。

クリスティは、両ヒザにサポーターをして闘っていた。聞けば、一年程前に、ヒザの腱を切って手術をしたのだという。この試合でも、蹴りらしい蹴りはほとんど見ることができなかった。

逆に神風にとっては、相手の弱点がさらされているようなもの。当然のように足を狙う。ゴング直後から、左右のローキックで、あつという間にクリスティを追い込んだ。

これまでのKOはほとんどパンチで積み重ねてきたというクリスティ。その得意のパンチを神風相手にも試みるが、すぐにローを打ち込まれて、後退してしまう。両ヒザの痛みはかなりの様子で、蹴られる度に顔が歪んでいく。

勝負に情けは無用。相手の事情などおかないしに攻め続けた神風は、三度のダウンを奪うのに約2分間しか要しなかった。

前回6月2日のジェシカ・ブレットフェルダートとの一戦も、1RでKO勝ちしている神風。相手を



入魂の
ロー!

根性娘、

倒しての勝利は、やはり判定勝ちよりは気持ちのいいものだ。心なしか神風の表情にも自信が漂っている。

こんな賞禄十分の試合をしておきながら神風は「気が弱いんで、根性でもっとみなさんを圧倒させるような試合をしたい」などと言う。この貪欲さには恐れ入る。だがこれを機に、今度はKOファイターとしても期待してみたい。

一方、これが初防衛戦だったクリスティは、泣きながらリングを降りた。そういえば、神風が前回KOしたジェシカも泣いていたっけ。神風はよく相手を泣かす…。(も)



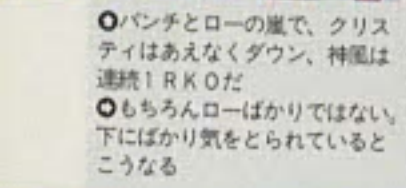
クリスティ、初防衛戦であえなく散る 貫録KOで神風がUKF王者に 顔に自信がみなぎってるぞ!

- UKF世界女子ユフェザー級選手権3分5R (セミ・ファイナル) 第12試合 (優勝者、四回一役)
- 神風杏子 (白羽ムサシ 57・93 cm)
- (1R 2分03秒、KO) ● 右ローキック
- クリスティ・マッコール (アメリカ 54 cm)
- (優勝王者)
- ※クリスティは、右ローキック、右ローキックでもダウンを喫した3ノックダウンによるKO。ヒザ打ち、ヒザ蹴り禁止。
- 世界タイトル戦にもかかわらず落ち着きほらついている神風。不敵な面構えだ。



○ 強烈なローキックを連発。クリスティのケガがなくても十分倒せそうな威力だ

○ 開始早々から神風はローで威嚇したが、クリスティは果敢に出ていった



その他の試合



○ 第11試合、井上晋(左・山本)が日本ライト級王者の山崎通明(黄金)と五角の打ち合いを演じ、0-10のドロに

○ 第6試合、永田健一(右・マイウェイ)と田中みお(黄金)の一戦は、ダウンの奪い合いで全く結果の読めないシーソーゲームとなったが、判定で永田が勝利

